

出演者 & スタッフ 大募集!

ペープサート
みんなのアイアであるとの民謡の舞台を創り上げよう
紙芝居
和太鼓
人形劇

募集要項

対象 小学生以上で、原則として4回のワークショップ(10月~12月)他、舞台制作活動に積極的に参加できる方に限ります。
初心者、成人歓迎。
募集人数 30人程度

活動について

場所 寝屋川市内各所(中央公民館他)
参加費用 無料(活動場所までの交通費は各自負担)

公演について

公演名 かがやく子どもたちのための
はちかづきコンサート
開催日 2015年2月28日(土)
場所 寝屋川アルカスホール メインホール

申し込み方法

裏面申し込み用紙に必要事項記入のうえ、以下にFAXまたは、直接TELにて申し込みも可能です。

応募・問い合わせ

TEL:090-8752-0336(雅 内田)
FAX:072-829-4461
メール:npo.gamu @nifty.com
HP:<http://homepage2.nifty.com/npo-gamu/>

はちかづき姫の物語あらすじ

その昔、河内国の寝屋に藤原実高という大長者が住んでいました。たいそう裕福で、人々から「寝屋長者」と呼ばれていました。ただ一つの悩みは、子宝に恵まれないことでした。それで毎月、大和国初瀬寺(長谷寺)の観音さまに、子宝を祈りに月参りをしていました。するとお告げがあって、女の子が授かりました。姫は、観音さまにあやかかって「初瀬」と名付けられました。初瀬姫はとても愛らしく、一家は幸せに暮らしていました。

しかし姫が十四歳の時、母親が病気で倒れました。母親は、観音さまのお告げどおりに姫の頭に鉢をかぶせて、息をひきとりました。悲しみのうちに一年が経ち、新しい母親がきました。この母親は、最初は優しくしたのですが、月日が経つにつれ、姫につらくあたり、とうとう姫を追い出してしまいました。

家を追い出された姫は、淀川に身を投げましたが、鉢が浮いて、沈むことさえできませんでした。そこへ「山蔭中将」という公家が通りかかり、姫を助け、自分の屋敷に連れて帰りました。

中将には、四人の息子がいましたが、四人目の息子(宰相)は、まだ独身でした。ある日、姫が宰相の湯殿番をしていた時、宰相は、姫に優しく声をかけ、身の上をいろいろたずね、姫も今までのことをすべて話しました。やがて、二人は愛しあうようになりました。

しかし、周囲の者は反対し「嫁くらべ」をして、姫を屋敷から追い出そうとします。姫は、みずから屋敷を出ようと思いますが、それをいさめるように、鉢が頭から落ちました。鉢のくれた姫の姿は、それは美しいものでした。しかも、鉢の中から、金銀財宝や、類い稀な宝物が出てきました。鉢はひらひらと蝶のように足元から舞い上がっていきました。

そして「嫁くらべ」にのぞんだ姫は、他のどの姫より、美しく、その気品あふれた心の美しい姫の前には、兄嫁達は、手も足も出さず、太刀打ちできませんでした。また、姫の奏でる琴も見事でした。こうして中将をはじめ周囲の者も、二人の仲をゆるし、その後、皆が幸せに暮らしました。

